

新1号館： サインパネルに使用された当館の貴重楽譜(その4)

2011年9月に完成した新1号館のサインパネルには当館所蔵の貴重楽譜が使用されています。地下1階から4階まで、各フロアに6か所、計30カ所に設置されていますので、是非探索してみてください。今回は3階から1点ご紹介します。

シューベルト、フランツ、1797-1828： 歓喜に寄す Schubert, Franz, 1797-1828: An die Freude von Schiller Wien, J. Czerny, 1829 初版

ベートーヴェンの第9交響曲の終楽章にも使われたシラーの頌詩《歓喜に寄す》につけた曲。1815年に完成していたが、出版はその14年後の1829年に、他の2つの曲、"Lebens Melodien"《生の調べ》、"Die vier Weltalter"《4つの時代》とともに作品111として、死後に行なわれた。前半が独唱、リフレイン部は合唱と指定されている歌は集会や酒場でも簡単に歌えるように単純な作りであるが、リフレインは拍子も曲想も異なる。

この資料は貴重書につき、利用に制限があります。請求記号：S12-952
参考図書室のオンライン端末で電子ファイルを閲覧することができます。



- ※ 解題はサインパネルキャプションの転載です。
- ※ サインパネルに使用された資料30点のうち、1点はオリジナルではなく、自筆譜のファクシミリ版を所蔵しています。
- ※ 全30点の画像は、下記のURLで公開しています。
<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/panel/panel.htm>

参考資料：国立音楽大学附属図書館所蔵 貴重書解題目録： 国立音楽大学創立80周年記念出版、2006